

学生研究業績一覧（2016年4月1日～2017年3月31日）及び前年度補遺

須藤 あゆ美 明治大学大学院文学研究科博士後期課程1年（日本文学専攻）

【学術論文等】

1. 「『殿上一種物』と『殿上淵酔』 - 『続古事談』巻1・22話の背景」（『日本古代学』9, pp27-40, 明治大学日本古代学教育・研究センター, 2017年3月）

【講演・学会・研究会発表】

1. 『『とはすがたり』における今様—巻一の酒宴場面をめぐって』（中世歌謡研究会第316回例会, 慶應義塾大学三田キャンパス, 2016年6月25日）
2. 『『続古事談』巻1・22話の背景 - 『殿上一種物』と『殿上淵酔』（第7回高麗大学校・明治大学 国際学術会議—東アジア文学と歴史の新たな照明—, 韓国高麗大学校民族文化研究院, 2016年9月7日）
3. 「延慶本『平家物語』『康頼本宮ニテ祭文読事』における今様の一試論」（中世歌謡研究会第318回例会慶應義塾大学三田キャンパス, 2016年9月24日）

【学内外における社会的活動等】

平成28年度科学研究費助成事業（特別研究員奨励費）『中世における今様受容に関する多角的研究』代表研究者

関 恭平 明治大学大学院文学研究科博士後期課程2年（日本文学専攻）

【講演・学会・研究会発表】

1. 『『源氏物語』蜻蛉巻独詠歌について—「萩の葉に露ふきすさぶ秋風」を起点として—」（国際学術研究会〈交響する古代VII—古代文化資源の国際化とその意義Vol.2—〉, 明治大学, 2017年1月13日）
-

千葉 仁美 明治大学大学院文学研究科博士後期課程2年（日本文学専攻）

【学術論文等】

1. 「東洋文庫『六家文選』二部について」（『東洋文庫書報』第47号, pp1-12, 東洋文庫, 2016年3月）
2. 『『覆宋本文選跋』について—袁褰刊本『六家文選』をめぐって—」（『汲古』第70号, pp22-29, 汲古書院, 2016年12月）
3. 『『白氏文集』における『切』の活用—『熊野切』を中心として—」（『文学研究論集』第46号, pp 325-336, 明治大学大学院文学研究科, 2017年2月）

【講演・学会・研究会発表】

1. 「熊野切「白氏文集」について」（中国中世文学会 平成28年度研究大会, 広島大学, 2016年10月）
 2. 「洪江抽齋写『覆宋本文選跋』について—袁褰刊本「六家文選」摺刷の前後—」（国際学術会議「交響する古代」VI, 明治大学, 2016年1月）〈補遺〉
-

金澤 典子 明治大学大学院文学研究科博士後期課程3年（日本文学専攻）

【学術論文等】

1. 『『千載佳句』元稹詩校異』（『文学研究論集』45, pp127-145, 明治大学大学院, 2016年9月）
 2. 『『千載佳句』許渾詩校異』（『文学研究論集』46, pp231-252, 明治大学大学院, 2017年2月）
 3. 『『千載佳句』白詩本文について』（『日本古代学』9, 明治大学日本古代学教育・研究センター, pp1-25, 2017年3月）
 4. 『『千載佳句』白詩校異（2）』（『文化継承学論集』12, pp22-74, 明治大学大学院, 2016年3月）〈補遺〉
-

クルボノヴァ グルノザ 明治大学大学院文学研究科博士後期課程3年（日本文学専攻）

【論文】

1. 『『源氏物語』における「やはらかなり」』（『日本古代学』8, 明治大学日本古代学教育・研究センター, pp44-66, 2016年3月）〈補遺〉
 2. 「紫の上と明石の姫君の手習—光源氏の女性教育—」（『学術研究論集』（『助手論集』）第6号, 明治大学文学部・文学研究科, 2016年3月）〈補遺〉
-

佐野 愛子 明治大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年(日本文学専攻)

【著書】

1. 『海東高僧傳』東洋文庫 875, 覚訓著 小峰和明・金英順編訳, 平凡社, (佐野「円安」), 2016 年 9 月

【学術論文等】

1. 「公益法人東洋文庫蔵『粵句幽霊集録』翻刻と解題」(『日本古代学』8, 明治大学日本古代学教育・研究センター, pp30-42, 2016 年 3 月)〈補遺〉

【学会発表】

1. 「越南本『禅苑集英』における仏教史観」(仏教文学学会大会, 大正大学, 2016 年 9 月 11 日)
2. 「ベトナム李仁宗代の怪異をめぐって」(前近代東アジアにおける怪異と社会, 立教大学, 2016 年 12 月 10 日)
3. 「The Description of the Circulation of Buddhism: Thi ên Uyển Tập Anh (禅苑集英) and Haedong Goseungjeon (海東高僧傳)」(Vietnam and Korea as "Longue Durée" Subject of Comparison, ハノイ人文社会大学, 2017 年 3 月 3-4 日)

朴 知恵 明治大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年(日本文学専攻)

【学会発表】

1. 「仏教説話における「宿願」—『今昔物語集』を中心に」(明治大学・南カリフォルニア大学学術交流, 南カリフォルニア大学, 2016 年 3 月 19 日)〈補遺〉
2. 「再誕説話に見える「宿願」の描き方—延慶本『平家物語』を中心に—」(＜第七回高麗大学校・明治大学国際学術会議＞—東亜細亜文学と歴史の新たな照明—, 韓国高麗大学校, 2016 年 9 月 6 日)

岩橋 直樹 明治大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年(史学専攻)

【学会発表】

1. 「治承・寿永の乱の東海地方西部地域—墨俣合戦前後の状況をめぐって—」(延慶本の会 研究報告, 青山学院大学, 2016 年 12 月 17 日)

坂口 彩夏 明治大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年(史学専攻)

【学会発表】

1. 「日本古代における称制の受容と皇位継承—持続「臨朝称制」の意義—」(第 44 回 古代史サマーセミナー分科会, 日高農村環境改善センター〈兵庫県豊岡市〉, 2016 年 8 月 20 日)
2. 「皇位継承法の変化と臨朝称制—持続天皇の即位・譲位前史—」(国際学術研究会〈交響する古代VII— 古代文化資源の国際化とその意義 Vol. 2—〉, 明治大学, 2017 年 1 月 13 日)
3. 「Succession in Classical Japan; The First Transition from a Monarch's Death to a Successor's Accession」(USC Meiji Research Exchange, University of Southern California, USA, 2016 年 3 月 17 日)〈補遺〉

里舘 翔大 明治大学大学院文学研究科博士前期課程 2 年(史学専攻)

【学術論文等】

1. 「養老五年戸籍にみえる寄口の性格と編成要因の考察」(『日本古代学』9, pp41-56, 明治大学日本古代学教育・研究センター, 2017 年 3 月)

【講演・学会・研究会発表】

1. 「養老五年戸籍の戸の成員—寄口から考える造籍方針と籍帳評価—」(歴史学研究会古代史部会 11 月例会, 國學院大学 2016 年 11 月 26 日)
2. 「古代日本にみえる戸の等級—御野国戸籍にみえる三政戸に関して—」(大阪大学・関西大学・京都府立大学・明治大学 4 大学合同考古学・古代史大学院生研究交流プログラム, 大阪大学, 2016 年 1 月 11 日)